

事業番号	09 04 07	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課				
		実施期間	S25 ～	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・日本国内において、家畜伝染病である豚熱及び高病原性鳥インフルエンザの発生が続いている。
- ・また、中国や韓国等の近隣国では口蹄疫やアフリカ豚熱が継続発生しており、国内への侵入リスクの高い状況が続いている。
- ・このため、感染状況の監視や飼養衛生管理基準の遵守を徹底する等により、疾病の発生予防及びまん延防止を図る必要がある。

2 事業目的

家畜伝染病の発生予防及び危機管理体制の強化並びに畜産物の安全性の確保推進等により、安全な畜産物の安定供給を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①伝染性疾病の発生予防及びまん延防止

- ・監視伝染病の検査を実施（鳥インフルエンザのモニタリング検査等）
- ・家畜防疫員による飼養衛生管理基準の遵守状況を確認するための農場立入検査
- ・検査体制を強化するため、耐用年数を超過した検査機器を更新

豚熱ワクチン接種



②家畜伝染病の発生時を想定した危機管理体制の強化

- ・防疫演習の実施

③豚熱対策の実施

- ・飼養豚等への豚熱ワクチン接種を実施
- ・免疫付与状況等確認検査を実施
- ・野生いのししの豚熱感染確認検査を実施

④産業動物獣医師の確保対策

- ・産業動物獣医師の確保対策のため、獣医学生に対する県内への就職・定着を促す取組を実施

⑤家畜伝染病発生時の防疫措置能力の強化

- ・新たな協定の締結により、民間事業者が有するリソースを有効活用することで強固な防疫体制を構築し、特定家畜伝染病発生時に迅速な防疫措置を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ♯：改善 ♯：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績 推移	実績 推移	目標値		
①	6 疾病（告示対象）の監視伝染病検査実施率	%	100	100 →	100 →	100	達成	家畜伝染病予防法に基づき伝染病のまん延防止のため設定。
②	防疫演習の実施地域数	地域	10	10 →	10 →	10	達成	緊急時の迅速な対応を可能とするため、県内全地域での実施を目標とする。
③	飼養豚等への豚熱ワクチン接種率	%	100	100 →	100 →	100	達成	豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、飼養豚等への豚熱感染を予防するため、接種対象を全ての飼養豚等に設定。
④	獣医学生への修学資金の貸与	名	—	— -	0 →	1	未達成	卒業後、産業動物獣医師として県内で勤務を希望している応募者の中から、毎年新規で1名に貸与する。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	548,476	6,381	554,857	106,496	135,690	62.8
R6年度	102,416	407,585	△ 6,629	503,372	146,477	228,867	62.8
R5年度	0	278,961	△ 7,306	271,655	116,169	121,831	62.8

事業番号	09 04 07	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

7 主な取組実績と成果

①伝染性疾病の発生予防及びまん延防止 ・鳥インフルエンザのモニタリング検査の対象鶏の検査を実施し、県内への侵入状況を監視した（延べ74戸740羽全て陰性）。 ・家畜防疫員による農場立入検査を564戸で実施し、飼養衛生管理基準の遵守状況の確認と指導を行い、家畜伝染病の発生予防を図った。 ・検査体制の強化のため、耐用年数を経過した家畜保健衛生所の検査機器（備品）を更新した。 ②家畜伝染病の発生時を想定した危機管理体制の強化 ・各地域振興局主催の防疫演習を実施し、家畜伝染病の発生時の対応を確認した。 ・防疫措置の人員支援を行う民間事業者がアドバイザーとして参加する防疫演習を北アルプス地域にて実施し、発生時の体制及び動員者集合場所の運営を中心に確認を行った。 ③豚熱対策の実施 ・全ての飼養豚等（延べ130,163頭）へ豚熱ワクチンを接種した。また、ワクチン接種豚の免疫付与状況等の確認検査により、抗体陽性率が80%以上（通年94.0%）であることを確認し、豚熱の発生予防が図られた。 ・野生いのししの感染確認検査（検査頭数908頭、陽性11頭）を行い、感染状況の監視を強化した。 ④産業動物獣医師の確保対策 ・大学訪問及び就職説明会に4回参加（ブース来場27名）し、制度周知及び進路選択支援を図った。 ・就業体験を12名受け入れ、産業動物分野の業務理解の促進を図った。 ・見学者のうち転職希望の獣医師2名が入庁し、県内就業に向けた具体的行動につながった。 ⑤家畜伝染病発生時の防疫措置能力の強化 ・防疫措置に関して人員支援を行う民間事業者と新たに覚書を締結し、特定家畜伝染病発生時の動員体制を強化した。 ・防護服Lサイズ300着、防護マスク1,250枚を新たに備蓄し、迅速な防疫措置能力を強化した。	防疫演習
---	------

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	6 疾病（告示対象）の監視伝染病検査実施率	R6年度推移	→	R7年度推移	→	達成状況	達成
計画的な実施により、対象とする全ての農場で該当の監視伝染病検査を達成。							
指標 ②	防疫演習の実施地域数	R6年度推移	→	R7年度推移	→	達成状況	達成
家畜伝染病発生時に現地対策本部となる各地域振興局が、有事の想定スケジュールに基づき、具体的な連絡・対応内容を確認し、各々のテーマを決めた防疫演習の実施を達成。							
指標 ③	飼養豚等への豚熱ワクチン接種率	R6年度推移	→	R7年度推移	→	達成状況	達成
計画的な実施により、全ての飼養豚等への豚熱ワクチン接種を達成。							
指標 ④	獣医学生への修学資金の貸与	R6年度推移	-	R7年度推移	→	達成状況	未達成
成果指標（修学資金貸与1名）に対し、実績は0名（応募0名）で未達であった。 制度周知・業務体験の機会提供は実施したが、応募に至らなかった。また、制度に関する問い合わせもなかった。 業務の魅力説明の不足や、制度の周知不足が要因と考えられる。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和 7 年度は県内において特定家畜伝染病の発生は無かったものの、近隣県での発生が見られることから、引き続き発生予防対策の強化が必要である。
- ・実際の特定家畜伝染病の発生時には、県下全域の連携により防疫作業者を動員して現地における防疫作業が行われるため、これを想定した防疫演習が必要である。
- ・家畜伝染病の疑いが発生した際、対象農家や周辺農家の確認作業に使用している「畜産農家データベース」が老朽化しているためメンテナンスが必要である。
- ・豚熱の発生を未然に防ぐため、ワクチン接種を効率的に進めていく必要がある。
- ・産業動物獣医師の確保対策については、本県畜産に興味のある学生はそれほどいないものと考えられ、その少数にどう制度を周知するかが課題。また、説明会・見学においては家畜保健衛生所等含め職員一丸となって業務の魅力PRが必要。

(2) 事業改善の方策

- ・農場への飼養衛生管理基準の遵守指導等、引き続き発生予防対策を実施する。
- ・県内農家の所在地や飼養状況等の情報を一元管理する「畜産農家データベース」の改修に向けた仕様検討を実施する。
- ・令和 5 年度から登録飼養衛生管理者（農場従業員等）によるワクチン接種制度を施行した。登録飼養衛生管理者が適切に豚熱ワクチン接種を行い、抗体陽性率80%以上を維持する体制を継続する。
- ・産業動物獣医師の確保のため、見学等参加者へ業務の魅力PRを強化するとともに、個別相談、申請支援を実施し応募を推進する。また、大学担当者へ電話等により直接周知を依頼する等、PRを強化するため、募集・広報の実施方法について見直しを行う。

事業番号	09 04 07	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	家畜衛生対策事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	家畜衛生対策事業		121,831 千円	228,867 千円	135,690 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	家畜保健衛生所運営費	直接	・家畜保健衛生所の適正な運営・管理 ・家畜伝染病の監視及び生産性の向上に資する検査機器を更新 ・県内5家保の運営 ・検査機器の更新6件（うち、1件はR7.1月補正予算）		
2	家畜伝染病予防事業	直接	家畜伝染病の発生及びまん延防止のため、監視伝染病の検査及び農場立入検査を実施 6疾病（告示対象）の監視伝染病の検査及び564戸の農場立入検査を実施		
3	家畜衛生対策事業	直接	特定家畜伝染病の発生を想定した防疫演習を実施 10地域で防疫演習を実施		
4	豚熱対策事業	直接	・県内の全ての飼養豚等へのワクチン接種及びワクチン接種豚の免疫付与状況等確認検査を実施 ・野生いのしし感染確認検査による監視を強化 飼養豚等へのワクチン接種を100%実施		
5	産業動物獣医師確保対策事業	直接	産業動物獣医師の確保対策のため、獣医学生に対する県内への就職・定着を促す取組を実施 ・就職説明会への参加4回 ・県内就業体験の受入れ（獣医学生：9名、社会人：3名、うち2名R8入職）		
6	特定家畜伝染病緊急防疫対策事業	直接	防疫措置に関して人員支援を行う民間事業者と新たに覚書を締結し、特定家畜伝染病発生時の動員体制を強化 特定家畜伝染病の発生なし		